



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月27日
上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社
 コード番号 4099 URL https://www.shikoku.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 兼 C. E. O. (氏名) 田中 直人
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理・情報システム部長 (氏名) 片山 和彦 (TEL) 0877-22-4111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	36,024	△5.6	4,888	△12.2	5,206	△9.6	3,911	△2.9
2020年3月期第3四半期	38,160	△2.0	5,564	△6.0	5,760	△9.0	4,027	△7.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,310百万円(13.5%) 2020年3月期第3四半期 4,680百万円(205.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	70.05	—
2020年3月期第3四半期	69.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	100,400	73,998	72.9
2020年3月期	100,896	71,647	70.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 73,172百万円 2020年3月期 70,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	49,000	△5.0	6,800	△13.4	7,000	△12.7	4,800	△14.4	86.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	55,877,263株	2020年3月期	58,948,063株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	335,838株	2020年3月期	1,900,015株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	55,842,155株	2020年3月期3Q	58,145,828株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言発令下において、景気は急速に悪化しました。宣言解除後、経済活動の再開が段階的に進められる中で、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られたものの、足元の感染者数の急拡大を受けた緊急事態宣言の再発出などにより、再び経済活動が収縮するリスクがあります。海外経済においても、米国、欧州等の広い地域において新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかかっておらず、回復ペースは鈍化するものと考えられます。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）の当社グループの売上高は360億24百万円（前年同期比5.6%の減収）、営業利益は48億88百万円（前年同期比12.2%の減益）、経常利益は52億6百万円（前年同期比9.6%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億11百万円（前年同期比2.9%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界規模での自動車やタイヤの生産調整の影響を受けて、国内、海外ともに低調に推移しましたが、第1四半期を底に生産活動は正常化しつつあり、販売も回復傾向にあります。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素、浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、低調に推移しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤塩素化イソシアヌル酸は、国内市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校のプール授業中止などの影響によりプール薬剤の販売が低迷しましたが、家庭の衛生意識の高まりからくる消毒・殺菌需要の増加を受け、水回り設備（サニタリー）向け薬剤は好調に推移しました。米国市場は、春先からの好天や外出規制による家庭用プール向け薬剤の需要が増加し、好調に推移しました。

（ファインケミカル）

プリント配線板向けの水性防錆剤タフエースは、中国・台湾を中心としたエレクトロニクス市場の回復を受けて、前年を上回りました。エポキシ樹脂硬化剤（イミダゾール類）を中心とする機能材料は、自動車関連用途では市況悪化の影響を受けたものの、新規開発品が伸張しました。

この結果、化学品事業の売上高は219億83百万円（前年同期比3.7%の減収）、セグメント利益は38億92百万円（前年同期比9.8%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

②建材事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴う内外経済の先行き不透明感が強く、投資を先送りとする傾向が強まるなど様子見基調が続いており、住宅着工や設備投資が弱含む中で、壁材、エクステリアともに低調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は133億56百万円（前年同期比9.3%の減収）、セグメント利益は22億56百万円（前年同期比12.4%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

[参考情報]

【販売実績】

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	9,212	7,608	82.6
有機化成品 (百万円)	7,467	8,188	109.7
ファインケミカル (百万円)	6,153	6,185	100.5
小計 (百万円)	22,832	21,983	96.3
建材事業			
壁材 (百万円)	1,268	1,108	87.4
エクステリア (百万円)	13,462	12,248	91.0
小計 (百万円)	14,731	13,356	90.7
報告セグメント計 (百万円)	37,564	35,340	94.1
その他 (百万円)	596	684	114.7
合計 (百万円)	38,160	36,024	94.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	5,644	14.8	5,103	14.1
北米	3,892	10.2	4,496	12.5
その他の地域	1,457	3.8	1,405	3.9
合計	10,994	28.8	11,004	30.5
連結売上高	38,160		36,024	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

財政状態は、総資産は、前連結会計年度末比4億95百万円減少し、1,004億0百万円となりました。主な増加は、投資有価証券26億38百万円、建設仮勘定21億75百万円、主な減少は、現金及び預金36億62百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比28億45百万円減少し、264億2百万円となりました。主な減少は、未払法人税等7億20百万円、1年内返済予定の長期借入金6億10百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比23億50百万円増加し、739億98百万円となりました。主な増加は、自己株式18億10百万円、その他有価証券評価差額金14億0百万円、主な減少は、利益剰余金7億81百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から72.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、直近公表の計画(2020年10月27日発表)を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、105円/米ドル、120円/ユーロと想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,607	22,945
受取手形及び売掛金	13,057	12,420
電子記録債権	2,095	2,556
有価証券	11,000	11,999
商品及び製品	6,912	6,259
仕掛品	47	38
原材料及び貯蔵品	3,100	2,878
その他	283	285
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	63,103	59,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,148	5,034
機械装置及び運搬具（純額）	3,929	3,271
土地	8,849	8,853
建設仮勘定	736	2,911
その他（純額）	651	538
有形固定資産合計	19,315	20,609
無形固定資産	143	99
投資その他の資産		
投資有価証券	16,607	19,246
繰延税金資産	1,159	533
その他	570	532
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	18,333	20,308
固定資産合計	37,792	41,018
資産合計	100,896	100,400

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,530	6,184
電子記録債務	415	347
短期借入金	2,730	2,530
1年内返済予定の長期借入金	693	83
未払法人税等	1,356	636
その他	6,022	4,539
流動負債合計	17,747	14,320
固定負債		
長期借入金	7,157	7,974
繰延税金負債	1	4
再評価に係る繰延税金負債	1,111	1,111
役員退職慰労引当金	88	73
退職給付に係る負債	2,201	2,131
資産除去債務	379	379
株式給付引当金	23	29
その他	537	377
固定負債合計	11,500	12,082
負債合計	29,248	26,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,815	5,740
利益剰余金	56,063	55,282
自己株式	△2,183	△373
株主資本合計	66,563	67,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,972	3,372
繰延ヘッジ損益	△4	—
土地再評価差額金	2,533	2,533
為替換算調整勘定	△109	△157
退職給付に係る調整累計額	△115	△94
その他の包括利益累計額合計	4,276	5,655
非支配株主持分	808	825
純資産合計	71,647	73,998
負債純資産合計	100,896	100,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	38,160	36,024
売上原価	22,767	21,807
売上総利益	15,392	14,216
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,355	3,365
広告宣伝費	510	296
給料	1,675	1,671
退職給付費用	132	153
役員退職慰労引当金繰入額	15	13
研究開発費	956	861
その他	3,182	2,966
販売費及び一般管理費合計	9,828	9,328
営業利益	5,564	4,888
営業外収益		
受取利息	14	33
受取配当金	418	397
雑収入	31	78
営業外収益合計	463	510
営業外費用		
支払利息	11	16
売上割引	99	93
為替差損	120	77
たな卸資産廃棄損	25	—
雑損失	9	5
営業外費用合計	266	192
経常利益	5,760	5,206
特別利益		
補助金収入	44	35
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	478
特別利益合計	45	513
特別損失		
固定資産除却損	10	16
投資有価証券売却損	—	38
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	10	63
税金等調整前四半期純利益	5,796	5,656
法人税等	1,730	1,725
四半期純利益	4,065	3,931
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,027	3,911

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,065	3,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	616	1,401
繰延ヘッジ損益	△8	4
為替換算調整勘定	△10	△47
退職給付に係る調整額	17	20
その他の包括利益合計	615	1,379
四半期包括利益	4,680	5,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,640	5,290
非支配株主に係る四半期包括利益	39	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2020年5月26日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式1,508,700株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,605百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2020年5月26日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、自己株式3,070,800株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が75百万円、利益剰余金が3,338百万円、自己株式が3,413百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,832	14,731	37,564	596	38,160	—	38,160
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	2	3	180	183	△183	—
計	22,833	14,734	37,567	776	38,344	△183	38,160
セグメント利益	4,317	2,575	6,893	56	6,950	△1,386	5,564

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,386百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,386百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,983	13,356	35,340	684	36,024	—	36,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1	2	214	217	△217	—
計	21,983	13,358	35,342	898	36,241	△217	36,024
セグメント利益	3,892	2,256	6,149	92	6,242	△1,353	4,888

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,353百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,354百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。